

2022年4月1日



登録サッシ・カーテンウォール基幹技能者

登録サッシ・カーテンウォール基幹技能者とは



登録基幹技能者とは、熟達した作業能力、豊富な知識、現場を効率的にまとめるマネジメント能力を備え、一般社団法人 日本サッシ協会並びに一般社団法人 建築開口部協会(両団体)の資格認定を受けた優秀な技能者です。

建築現場において、躯体工事から仕上げ工事への移行の際、その先頭となる職種が、サッシ及びカーテンウォール工事です。

登録サッシ・カーテンウォール基幹技能者は、他職種の職長と事前調整を行い、安全作業で手待ちや後戻り工事を発生させない工程管理を行うことはもとより、安全かつ合理的な作業方法を提案しつつ、高品質な製品を提供します。

登録基幹技能者制度への取り組み

2001年、旧制度となる第1回基幹技能者認定試験を東京及び大阪で実施後、試験開催地を拡大し、2007年までに、サッシ・カーテンウォール基幹技能者を全国で725名育成してきました。

2008年、建設業法及び同施行規則の改正で「登録基幹技能者」として位置付けられ日本サッシ協会 ならびに 建築開口部協会が、登録基幹技能者講習実施機関として、国土交通大臣より登録番号19の団体登録を受けて2009年度より実施しています。2012年度までの特例講習で登録サッシ・カーテンウォール基幹技能者への移行者に新規登録者を含め1,399名を認定し、登録サッシ・カーテンウォール基幹技能者修了証を発行しました。

登録基幹技能者になるためには・・・

定められた認定講習の講義を受講し、試験に合格する必要があります。

講習の受講資格は、次の要件を全て満たしている者としてします。

- (1) サッシ、ドア、カーテンウォール又はシャッター施工の実務経験が通算10年以上
- (2) 実務経験のうち、サッシ、ドア、カーテンウォール又はシャッター施工の職長経験が通算3年以上
- (3) サッシ施工1級技能士もしくは、カーテンウォール施工1級技能士又は優秀施工者
国土交通大臣顕彰者

登録講習(講義・試験)の概要

- 講習講義の時間は2日間にわたり、延べ13時間。
- 講義と試験の科目は次のとおりで、受講者には専用テキストを配付します。
 - a. サッシ・カーテンウォール施工にかかる一般知識
 - b. 関係法令
 - c. 施工管理・事務、工程、資材、原価、品質、安全にかかる技術管理
- 試験は、1日間で制限時間は2時間とする。講義とは別の日に実施します。

講習会の日程・カリキュラム・受講料

登録講習(講義・試験)の実施時期・開催場所は、年度毎に定められ、受講申込み方法等、実施要項につきましては、当会ホームページ上で告知します。

問合せ先

一般社団法人 日本サッシ協会

一般社団法人 建築開口部協会

登録サッシ・カーテンウォール基幹技能者制度運営委員会

電話:03-6721-5934